

第9回 自動車整備技術の高度化検討会 議事概要

日 時：平成27年9月25日（金） 14:00～15:30

場 所：中央合同庁舎3号館8階国際会議室

各議題の資料について事務局より説明を行い、以下のような意見等が挙げられた。

●議題1 これまでの経緯と今後の検討事項について

- ・「安全 OBD」等の用語の定義等について検討すべき。
- ・標準化は欧米との整合性を図るため、欧米状況の調査は重要である。
- ・今後の技術の進歩を踏まえると、ハードウェアを標準化して整備し、ソフトウェアの領域で拡張性のあるものにして、ハードウェアとソフトウェアのすみ分けが重要である。

●議題2 WGの設置について

- ・2つのWGの設置については承認する。
- ・平成23年の調査ではスキャンツールの未導入の事業者が存在するが、その理由を詳しく調査すべき。

●議題3 アンケート調査について

- ・アンケート期間中のスキャンツール研修の受講者のみを調査対象とすると、回答者が少ないことが懸念される。
- ・通常の点検の中でのスキャンツールの活用についても、このアンケートで調査してはどうか。
- ・過去の調査と比較できるような調査にするとともに、そのときの要望事項への現在の対応状況がわかる資料を調査票に添付すると回答意欲が増すのではないか。
- ・特に応用研修については、経営者の理解が無いと受講が進まないため、経営者に対する啓蒙活動が重要である。
- ・普段やり慣れていない整備を避ける事業者もあり、それがスキャンツールの普及の妨げになっている面があるが、経営方針であるため、どのように折り合いをつけていくかが課題である。

→以上より、再度意見照会を行った上でアンケート調査を行うこととした。

●議題4 その他

- ・次回検討会は12月頃を予定している。WGについても近日中に事務局からの連絡がある。